

メンタルヘルスマニ研修会

～仕事を教える技術 心理学的5つのポイント～

(0) 人材育成における名言(山本五十六氏)

「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」

⇒確かに、その通り!ですが「やってみせ…」だけでは足りない。その前段階にポイントあり。

(1) 仕事の教え方の5つのコツ ⇒仕事を習得する下地づくり。

☆**リラックスさせる** (挨拶、教える側の自己紹介、体調や予定の確認、時間設定など)

☆**適切な場所を選ぶ** (実際に作業をする場所や、雑音や往来が少なく、習得に集中できる環境)

☆**今から何の仕事を教えるか伝える** («これから教えるのは〇〇のやり方です»)

☆**その仕事の理解度を尋ねる** (今までどこかで何か聞いたことはあるか、経験はあるかなど)

☆**その仕事の重要性を話す**

(その仕事が、全体の中で、どんな位置づけにあるか。誤った場合、どんなに大きい影響が  
でるか。うまく行った場合、どういう成果につながるかなど)

(2) 5つのコツが大切な理由

〈習う側にとって〉習得する心の準備をつくる時間。教える側を信頼する時間。

〈教える側にとって〉教える側も”時間や気持ちに余裕を持つ”という下地づくりが必要。

1回のインストラクションで、習う側がしっかり吸収できれば、教える側の手間ひまも、最小限に。習う側のモチベーションも高いため、長期的な成果が得られます。

※教える側・引き継ぐ側は、遠慮や断られる・嫌がられるかもという怖さから、“軽い仕事”“簡単な作業”“負担を掛けて申し訳ない”というニュアンスで伝えたくくなります。(逆効果)

教わる側・引き継ぐ側は、“大切だ”“重要だ”“期待している”“成長につながる”“だから君に任せる”と言われるほうが、モチベーションが上がります。

実習:「出勤簿に押印する(タイムカードを押す)」という作業を新人職員に教えましょう!  
(2人ペアのロールプレイ。1人が新人役、1人が教える役となり体験。後で役割交代します)

～講座のなかで聞きづらいことなどありましたら、講座終了後、お気軽にお声掛けください～